

外洋三崎 会長就任にあたって

新田 肇

この度、JSAF 外洋三崎会長に就任をさせていただきました新田 肇です。

1956年横浜に生まれ、学生時代は三保松原沖を富士山からの吹き下ろしの風で快走するヨットを横目で見ながらカッター（端艇）を漕ぐ毎日でした、その後縁があり、ヨットに明け暮れる日々を過ごさせていただいております。

外洋三崎にお世話になったのは住まいと職場を三崎に移した頃からで、25年ほどになりました。自艇（1122TREKKEE）も船齢が25年を経過し、日々艇のメンテナンスに追われています。

我が国ではヨットライフを謳歌することは必ずしもたやすいことではありません、その背景にヨットというスポーツが社会に浸透していないことがあります。しかしながら、周囲を「海」に囲まれている私たちはどこへ行くのにも海を越えなければなりません。本来ヨットはもっと私達の生活に密着していても不思議ではありません。

2020年には相模湾に世界中のトップセーラーが集うことが決まりました。外洋三崎は「自然ともっとも調和することが出来るはずのヨット」の素晴らしさを今まで以上に社会に発信したいと考えています。三浦三崎の沖は太平洋です、この太平洋に船出する全てのヨットをサポートしたいと考えています。ひとりでも多くのヨット好きを増やし、1艇でも多くのヨットが参加出来る新しい形のヨットレースを創りあげたいと考えています。

近年、外洋ヨット離れと言われていますが、それはセーリングという競技スポーツを特殊なものとして考えられがちであることが原因だと考えます、今後外洋三崎は、外洋ヨットを「いかに安全に、そして安心して楽しめるものであるか」を単にヨット乗りの目線だけでは無く、幅広い視野と視点から考えられる「礎」を築くことによりヨットに興味を持って頂ける人を増やします。

安全と安心は日々の努力によりはじめて成り立つものであり一朝一夕には成り立ちません。外洋三崎はヨットの安全と安心を各ヨットが築き上げられる環境を今まで以上に整えます。そして外洋ヨットの計り知れない魅力を更に広く社会に向け表現します。もちろん外洋ヨットの聖地として今まで以上に外洋レースを企画し主催します。

外洋三崎を築き上げた諸先輩方々の意志を引き継ぐと共に、その基礎を無駄にすること無く、その名に恥じることない活動をさせていただきます。そして会員皆様一人ひとりのお力により、近い将来我が国のヨット界の中で最も輝いている海域にしようではありませんか。